



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033-4  
編集兼人 杉本一男  
発行人 杉本一男  
半年間 1,200円 送料共  
振替口座番号  
労金大牟田  
0968946-005

公判のお知らせ  
11・9 三池大炭害裁判公判  
三月十八日午後一時から、福  
岡地方裁判所で(56回)  
9・28 坑内火災裁判公判  
会社側証人の都合で延期になり  
次回六月六日頃の予定。



85春闘シンボルマーク

# 労働協約、労働条件、福利・厚生

## 条件低下に歯止めを

### 二十五日から中央交渉開始

労働協約、労働条件、福利・厚生などの改訂をめぐることは、大衆討論を経て、一月二十六日の委員会で集約され、さらに執行委員会討議の上要求書をまとめ、二月十三日三井石炭社長、三池港務所長に提出。中央交渉は二十五日から始まりですが、労働条件低下に歯止めをかけるために要求の実現が強く求められています。

### 要求書

要求書又は省略しました。なお、要求項目の各項について、抜粋し要約です。

#### 三井石炭関係

- 1、労働協約、労働条件
- 2、休職について
- 3、諸休職の取り扱い
- 4、日額の百パーセントとせよ。なお対策を立てよ。
- 5、公休日は支給日数から除外せよ。
- 6、2、保安靴、作業着の支給。
- 7、文化資金の増額。
- 8、住宅資金貸付の改善。
- 9、永年勤続表彰の改善。
- 10、乗車免除などの改善。
- 11、健康家族の収入限度の改善。
- 12、勤務中死亡の労災扱い。
- 13、公・私傷者の解雇制限。
- 14、公傷入院の取り扱いの改善。
- 15、福利共済基金制度の改善。
- 16、定年退職旅行の改善。
- 17、精勤賞与の改善。
- 18、看護手当の新設。
- 19、在学者の家族手当の改善。
- 20、福利・厚生
- 21、一般賃率算、福利賃率算を五パーセント増額せよ。
- 22、住宅近代化資金の増額。
- 23、持家制度の改善と充実。
- 24、社有地の安価分譲。
- 25、社宅建設用地の確保。

#### 港務所関係

- 1、住宅手当の増額。
- 2、保安担当者の手当増額。
- 3、争議時の休暇取り扱い改善。
- 4、諸手当の増額。
- 5、福利・厚生
- 6、社宅管理費徴集の廃止。
- 7、電気料金の改善。
- 8、上下水道料金の改善。
- 9、石炭支給と燃料代補助改善。
- 10、燃料支給の改善。
- 11、会社都合転居料の増額。
- 12、各戸に消火器の設置。
- 13、各戸に換気扇の設置。
- 14、二戸一戸利用の推進。
- 15、下請け労働者の労働条件については一般職同様のすること。

#### 港務所関係

- 1、通勤手当は全額実費負担とせよ。なお、自己手段による通勤者にはバス代相当額を支給せよ。
- 2、坑内休職所の改善。
- 3、坑外事務所、控所の冷房化。
- 4、坑外遺棄物の昇降機設置。
- 5、各鉱、所の駐車場の改善。
- 6、坑内便所の設置。
- 7、坑内人車の改善。
- 8、労働協約、労働条件
- 9、通勤手当は全額実費負担とせよ。なお、自己手段による通勤者にはバス代相当額を支給せよ。

## 炭労 保安点検月間へ全力

### 執行部の入坑点検など諸取り組み

重大災害や頻発災害の絶滅をめざして炭労は、一月二十六日開かれた中央闘争委員会「保安点検月間」の推進を決定し、具体的な取り組みを各支部に指令しました。

昨年一年間の災害発生状況は、一月十八日の有明鉱の坑内火災による八十三人の死亡者を出したのをはじめ、各炭鉱で死亡事故が相次ぎ死者合計は百人に達し、稼働延べ百万人当りの災害率でみてが実態です。

このような状況の中で、炭労は第十四回保安点検月間を二月十八日から三月二日までの二週間にわたって設定し、一人ひとりの組合員が権利として保安確保をたかいたる立場から、職場の保安状

況を点検し不安状態の一掃をはかる。②ガス爆発、ガス突出、自然発火などの重大災害に対する予防体制を確立するために、各支部保安点検班による総合的な点検を実施し、改善要求を明示していただく。③「月間」の意義を徹底し、強固な取り組み体制を確立することを決定し、具体的な指令を出しました。

これを受けて、三池労組では月間のはじめに執行部の入坑点検を実施するとともに、保安確保のたかいたる立場から、職場の保安状

## 攻めの春闘へ転換

### 一総評臨時大会一

### 年金ストも配置

「攻めの八五春闘、職場・地域から総決起しよう」をメインスローガンに、総評(黒川武義議長、約四百五十万人)は二月七、八の両日、神奈川県川崎市で第七十二回臨時大会を開き、八五春闘方針として、①賃上げ二万円、八五以上、②四月第二週をヤマ場とする集中決戦ゾーンの設定、③中小春闘と反行革闘争の強化、④年金改悪阻止へ向け三月下旬に三十分間の年金スト、実施などを骨子とする闘争方針を決めました。

採択された方針は、今春闘を「苦節十年、防衛から反転攻勢に転じる春闘」と位置づけ、総労働体制による労働運動の活性化を展



春闘勝利九州ブロック討論集会をはじめ各県の討論集会が相次いで開かれた。(写真は福岡の討論集会)

### 炭労の春闘方針 三月大会で決定

炭労は、すでに賃金専門委員会をはじめ各専門部長会議などを開いて春闘要求案などの案を議論し、中央執行委員会を経て二十三日の九州二山連絡会議、さらに二十四日の三池の委員会に方針が提起され、三月十二、十三日の大会で決定されます。

春闘方針をめぐって活発な論議が望まれます。

### うごき

- 2月18日・19日 執行部入坑点検
- 19日 英炭労代表報告集会
- 20日 大地評労働学校
- 20日 炭労支部代表者会議
- 20日 健康理事會、組合費の減額学習會
- 22日 大地評労働学校
- 23日 九州二山連絡會議
- 23日 保安委員会
- 23日・24日 CO患者検診
- 24日 第10回委員会

## 地底

立春が過ぎ一カ月も早く春一番が吹き、荒尾の「くんとぞう」さんの春祭りも終わった。梅のツボミもふくらんでくるが春とはいつても「余寒」「春寒」といわれるようにまだ寒さが厳しい。流行っている風邪に用心を。

八五春闘が本格的に始動した。十連敗という不甲斐ない荷物、を背負っての攻めの春闘というのだが、要求づくりの段階から、低率、を指摘される。実感要求からは三・四万円という線である。加えて炭鉱の場合は、上昇率二割台で推移しており、他産業との格差ははるかに開き、もっと頭の見える春闘に、と願う。

「労働統一」論議について、労働運動の、様変わり、は急速にすすんでいるが「同盟」の集会について中層幹部が登壇、迎える方も出かける方も別にかくすぶりもない。グラス片手に「へんだ」と思う方が「へんだ」と。一方では、攻めの春闘、を唱える幹部が政財界のパーティやゴルフ大会に出席、やっぱり変だ。

大牟田市のマスタープランを作成するための「市民意識調査」がまとまった。住みやすさなど三十一項目の設問だが、「あまり住みやすくない」「非常に住みにくい」と答えたのが三・四割。その理由は、魅力ある仕事場がない、活気がない、自然環境が悪いの順。困ることは、仕事がない、文化・体育施設がないの順。

再開国会議員「一割でやれる可能性が薄れた」と中層幹部が発言、紛糾した。もちろん軍事費のGNP、国民総生産費一割枠の問題だ。あらためて「以内の方針を守りたい」と表明したが、衣の下はヨロイは覆うすべもない。際限のない軍拡に、歯止めをかけるために軍事費を削って福祉へつらしたの声を大きく。